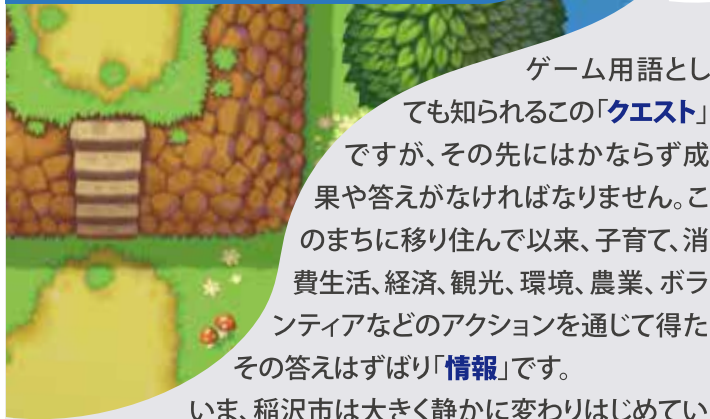




なにが足りないのか？

さいしょのクエストをとくカギ



ゲーム用語としても知られるこの「クエスト」ですが、その先にはかならず成果や答えがなければなりません。このまちに移り住んで以来、子育て、消費生活、経済、観光、環境、農業、ボランティアなどのアクションを通じて得たその答えはずばり「情報」です。

いま、稲沢市は大きく静かに変わり始めています。たとえば「DX」と呼ばれる業務のデジタル化や生産性の向上などには目をみはるものがあります。けれど、どんなに先進的でも素晴らしい取り組みであってもその情報がただしくすべての市民にいきわたらなければ意味をなしません。どなたもけして置き去りにしないためのこのクエストクリアのカギはただひとつ。

それは
「**ていねいな情報共有**」
です。



マキ この稲沢は、 クエストにあらわれてる。

課題



クエストの成果

未知の冒険の探求の先

そして今、わたしたちには
あたらしい**体験**こそが必要です。
エクスペリエンス

あまねく情報が行き渡ることでもたらされる成果のイメージはつぎの4つです。いずれも、これまで経験したことのない暮らしのクオリティを実現するものです。

01 やさしいまちに

ホスピタリティの向上

暮らしの中の市民サービスは多岐にわたりますが、いずれも窓口があつてのもです。市民と職員双方のあらゆる負担が減ることで、さらにやさしいまちづくりが可能になります。

02 移動の最適化

モビリティの向上

道路の利便性があがることで、通勤、通学、買い物からレジャーにいたるまで、ひとの流れは一変します。駐輪、駐車などの公共施設の最適化はもちろん、地域活性化が期待できます。

03 持続化を成立

情報の非対称性の解消

困ったときや知りたいときにこそ迅速かつ適切な情報が必要です。パズルのピースのように、いちど解消されさえすればあとは5年さき、いえ、20年さきまでの安心が見える化されます。

04 新しい官民連携

市民QOLの底上げ

「暮らしの質」にはまだまだ向上の余地があります。今の生活にプラスワンの専門的知見が集まることで、即効性の高い市民サービスが適切に実現していきます。

そして、ひとつのクエスト(課題)のクリア(解消)は、つぎのあたらしいクエストを生み出します。

「それじゃあ、これまでと同じじゃない」と思われるかもしれません。けれども…

このまちに足りなかった「情報の共有」の仕組みがいちど成立するとどうなるのでしょうか？

そうです。
「一度決まったことやはじめた取り組みはめったやたらにやめたり変えたりできない」のです。もちろん、この仕組みも例外ではありません。



Our Next Experience.

ONE! INAZAWA



まずは、わたしたちから！
「稲沢に住んでいてよかった」と思えるまちに。